

1	事業名称	N & G 自然体験キャンプ ～親子で考えるネットやゲームとのつきあい方～			
2	新規・継続	継続	2年目		
3	趣旨	信州高遠の自然の中で、ネットやゲームから離れ、様々な自然体験活動や交流体験活動を行いながら、親子でネットやゲームとのより良いつきあい方を学んだり、自分のネット利用について考えたりすることを目的としてキャンプを実施する。			
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日
		1回	9月19日(土)	～	9月21日(月)
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家			
6	募集人数	10家族			
7	協賛・後援	長野県教育委員会・山梨県教育委員会・愛知県教育委員会・伊那市教育委員会・伊那市			
8	参加者人数	4家族(12名)			
9	参加者類型	中学3年1人(保護者1人)、中学1年1人(保護者1人)、小学校6年生3人(保護者4人)、その家族1人(年少)			
10	参加者地域	東京都1家族(2人) 長野県3家族(10人)			
11	参加者分析	長野県からの参加者2家族は、企画運営委員からの働きかけによる参加。もう一家族は、長野県立こころの医療センター駒ヶ根の医師からの紹介。東京都からの参加者は、昨年度に引き続きの参加であった。			
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満
		100%	0%	0%	0%
13	アンケートの主な記述	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットやゲームなどを長時間行うことで、心身に悪影響が及ぶことを子どもたちに理解させ、ネットとのつきあい方を考えるきっかけとなった。 ・ 日常生活のなかで、同年代の子供たちとのコミュニケーションが不足しているため、今回のようなキャンプの企画があり家族全員喜んでいいる。 ・ 遊びを通して人間の関わり大切さを学んだ。 ・ 携帯電話が繋がらない、テレビを見ない、生活もいいものだと感じた。 ・ 子供たちが楽しそうに花を集めている姿がうれしく感じた。 			
14	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日頃、昼夜逆転現象や食事をとらないなどの生活リズムが崩れがちな子供たちが、このキャンプの日程を過ごす中で、早寝、早起き、朝ご飯の生活リズムを意識することができた。 ・ 1日の中でほとんどの時間をネットと接している子どもたちが、ネットだけではなく、テレビなどのメディアから離れ、自然体験活動をする中で、自然のよさを実感することができた。 ・ 日常生活の中で、親子の会話が少なくなってきたが、今回のキャンプで親子の会話が増え、関係が良好になったように思える。 ・ 親も同じような悩みをもつ人と話をしたり、講師の方との面談をしたりと日頃の悩みを口にすることで、気持ちが”楽”になったという感想があった。親にとっても良い機会となった。 			
15	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者が10家族に達しなかったため、来年度のキャンプは、内容や時期、保護者の全日程参加の必須について検討する必要がある。 ・ 参加者が増えるとメンターボランティアの確保が難しくなりそうである。法人ボランティアだけでなく、近隣や首都圏の大学にも声をかけていくことが必要と考える。 ・ 今回のプログラムは詰め込みすぎで、参加者が大変そうであったという反省があがった。来年度は、3泊4日にし、活動の合間に長めの休憩を入れて、プログラムにゆとりをもたせたい。 ・ 子どもだけの班活動を充実することと子どもの達成感をさらに高めつつ、保護者向けのプログラムを充実させたい。 			
16	担当者メモ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年は、ボランティアのサポートがしっかりとできたので、活動全体に良い影響を与えた。 ・ キャンプファイヤーを盛り上げることを中心に考えたが、静寂や火を見つめる時間を設け、心を落ち着かせる場面や内容も今後は考えていきたい。 ・ 昨年度は、メンターボランティア研修を事業日の1ヶ月前に設けたが、今回は事業当日に行ったので、メンターのテンションもあがり非常に良い状態で事業に望めたのが良かった。 ・ 参加者が基本的な生活習慣を習得するためには、もう少し長い日程の方が良いと感じる。しかし、長い日程だと応募者が減少したり、わがままが出てしまったりと問題が予想されるので、今後のキャンプについてはさらに狙いを明確にして日程や内容を検討していきたい。 			

日程														
17	9月19日 (土)	12:30		15:00			16:00			18:00	19:00	20:30		21:30
		受付・開会式 ・アイスブレイク ・キャンプ日程の確認 ・入室、荷物整理			野外炊飯（子供中心）			個別面談（保護者）			入浴 休憩	個別面談 （小・中学生） 保護者自由時間	星座 観察	消灯
	9月20日 (日)	7:00	8:00	9:00	12:00			13:00	16:00	17:00	19:00	20:30	21:30	
	起床	朝のつどい 野鳥観察	朝食 整理 整頓	遊びの力 （アフタフ・パーバン）			昼食	ワーク シヨッ プ	保護者交流会 子供交流会	夕食 休憩	キャンプ ファイヤー	入浴	消灯	
	9月21日 (月)	7:00	8:00	9:30	11:30									
	起床	朝のつどい 植生観察 朝食	朝食 整理 整頓	まとめの会 終わりの会			家族で帰宅							

最初のプログラムは野外炊飯。ダッチオーブンを使って鳥の丸焼きに挑戦して、チキンカレーを作りました。



2日目の午後にドラム缶風呂を沸かし、参加者全員で入りました。「とても気持ちいい」と声が上がっていました。



朝は早起きして散策をしました。1日目は野鳥、2日目は植生について観察しました。



2日目のワークショップでの様子です。講師の先生のお話を聞いて、親子やグループでネットやゲームとのつきあい方について考えました。



考えよう
家族みんなで
スマホのルール

私たちは子供たちの情報モラル育成に取り組みます

国立青少年教育振興機構 × 文部科学省

（事業担当：企画指導専門職 米林 尚希）